# 唐崎小学校ストップいじめアクションプラン

唐崎小学校
の教育目標

やる気いっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱい

いじめをしない　、　させない　、　見逃さない

## 子どもアクション

＜生活＞

○ 学校生活の基本ルールを守る。
○

＜児童会活動＞

○ 「心の花を咲かせよう」プロジェクトを行う。

○ スマイルグランプリ（各学期）で、自慢を発表する。

＜学級活動＞

○ 行事や学級活動での活動を通して、学級の団結を高める。

○ 友だちのよい行いを朝の会や帰りの会で発表する。

○ 人権週間にいじめ防止の話し合いをしたり、人権に関する詩・標語・ポスターをつくったりする。

## 教職員アクション

＜未然防止＞

○ 学校生活の基本ルールの指導の徹底
○ できる・わかる授業、楽しい授業をする
○ 道徳教育の充実
　・規範意識
　・人権感覚
　・思いやり・優しさ
○ 教育相談体制の充実
　・スクールカウンセラーによる教育相談
　・養護教諭による健康相談
○ 自尊感情を伸ばす。
　・「教えて」「ほめる」ことを中心に
○ 積極的なあいさつ・声かけ
○ 友だちができる工夫
○ 差別の構造を壊す

＜早期発見・早期対応＞

○ 教育相談月間（11 月）
　子どもと担任の一対一の話し合いの場の設定
○ 保護者との個別懇談
○ いじめに関するアンケート調査
○ 早期発見チェック表の活用
○ 組織的な対応
　対応の流れの共通理解

＜再発防止＞

○ その後の確認・聞き取り
○ 事後指導
○ 事例の共有化
○ 通信を通した取り組みの報告
○ 学校協力者会議でのいじめの現状報告

## 地域・家庭と連携したアクション

○ 「唐崎小学校ストップいじめアクションプラン」を学校だよりやＨＰに掲載し、積極的な発信に努める。また、懇談会などでプランについて説明し、理解・協力を求める。
○ あいさつロードの日
○ 地域行事を通してふれあいを深める。
○ 日常の情報交換を活発に行う。
○ 子どもの様子にアンテナを張ってもらう。

【いじめられている子のサイン】

- 朝になると体調不良を訴え、登校をしぶるようになった
- 理由のはっきりしない衣服の汚れ、擦り傷やあざなどがある
- 寝付きが悪い。笑顔が減った。
- 持ち物や勉強道具などがなくなったり、落書きをされたりしている。
- 親しかった友だちが遊びに来なくなったり、遊びに行く回数が減った。
- 転校したい、学級をかわりたいなどの話をするようになった。

【いじめている子のサイン】

- 買ってやっていないものを持っている。
- 親の言うことを聞かなくなり、反抗的な態度をとるようになった。
- 親が部屋に入るのを極端に嫌うようになった。